

# 宿泊約款

(適用範囲)

## 第1条

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令または一般に確立された慣習によるものとし、
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとし、

(宿泊契約の申込み)

## 第2条

1. 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
  - (1) 宿泊者名
  - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
  - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

## 第3条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとし、ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明した時は、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 前第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとし、ただし、申込金の支払期日を指定するにあたり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

## 第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこと

とする特約に応じることがあります。

2. 宿泊約款の申込みを承諾するにあたり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

#### (宿泊契約締結の拒否)

#### 第5条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
  - (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
  - (2) 満室(員)により客室の余裕がないとき。
  - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき。
  - (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同条第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ 暴力団又は暴力団員その他の反社会的勢力が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ 法人でその役員のうち暴力団員その他の反社会的勢力に該当する者があるもの
  - (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (6) 宿泊しようとする者が、伝染病者であると明らかに認められるとき。
  - (7) 宿泊に関し暴力的要求行為(暴力・傷害・脅迫等の威圧的要求)が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (8) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
  - (9) 宿泊しようとする者が、泥酔状態で他のお客様に著しく迷惑を及ぼす恐れがあると認められるとき。
  - (10) その他、当ホテルが宿泊契約の締結に応じない必要性があると認める場合。

#### (宿泊客の契約解除権)

#### 第6条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除した時を除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるにあたって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後20時(あらかじめ到着予定時刻が明示さ

れている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

## 第7条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
  - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をする恐れがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
  - (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
    - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
    - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
    - ハ 法人でその役員のうち暴力団員に該当する者があるもの
  - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
  - (4) 宿泊客が伝染病であると明らかに認められるとき。
  - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為(暴力・傷害・脅迫等の威圧的要求)が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
  - (6) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
  - (7) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
  - (8) その他、当ホテルが宿泊契約を解除する必要性があると認める場合。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊の登録)

## 第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
  - (1) 宿泊客の氏名、年齢、性別、住所及び職業
  - (2) 外国人にあつては、更に国籍、旅券番号(パスポート)、入国地及び入国年月日
  - (3) 出発日及び出発予定時刻
  - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

(客室の使用時間)

## 第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後15時から翌11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合には、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過 3 時間までは、室料金相当額の 30%
- (2) 超過 6 時間までは、室料金相当額の 50%
- (3) 超過 6 時間以上は、室料金相当額の 100%

(利用規則の遵守)

#### 第 10 条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

(営業時間)

#### 第 11 条

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備え付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクター等でご案内いたします。
  - (1) フロント・・・・・・・・・・・・・・・・24 時間
2. 施設等の営業内容は、必要やむを得ない場合には変更することがあります。

(料金の支払い)

#### 第 12 条

1. 宿泊者が支払うべき宿泊料金の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又はホテルが認めた宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

(当ホテルの責任)

#### 第 13 条

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、15 万円を限度としてその損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

(契約した客室の提供ができないときの取扱い)

#### 第 14 条

1. 当ホテルで、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、他の宿泊施設のあっ旋を行わない場合があります。

2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあつ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。  
ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

(寄託物等の取扱い)

#### 第 15 条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。但し、宿泊客があらかじめその種類及び価額を明示しなかったときは、当ホテルは 15 万円を限度としてその損害を賠償します。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であつてフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は重大な過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15 万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。
3. 客室内貸金庫の管理は宿泊者自身が行うことを原則とします。  
宿泊客出発後に客室内金庫の継続利用が認められた場合には、ホテル側にて開錠、所有者より指示がない場合には当ホテルにて一定期間保管したのち、最寄りの警察署に届けます。

(宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

#### 第 16 条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任を持って保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際にお渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見した日から 7 日間当ホテルで保管し、その後は当ホテルの判断に基づき処分致します。但し、飲食品に関しましては、発見した日から 1 日経過後に破棄させていただきます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車場の責任)

#### 第 17 条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じ

ます。

(宿泊客の責任)

第 18 条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊者は、当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

(客室の清掃)

第 19 条

1. 宿泊客が 2 泊以上連続して同一の客室に宿泊される場合、当該客室の清掃は、原則として毎日実施致します。
2. 清掃が不要の場合には、起こさないで下さいの提示、もしくは客室係(フロント)までご連絡下さい。
3. 宿泊客から清掃は不要である旨のご要望を受けた場合であっても、法令及び都道府県条例等の趣旨に鑑み、少なくとも 3 日経過ごとに必ず 1 回の客室清掃を行わせていただきます。但し、当ホテルが必要と認める場合には、宿泊客の同意を得られなくとも、随時客室の清掃を行えるものとします。

(支配する国語)

第 20 条

1. 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本語が優先するものとします。

別表第 1 宿泊料金等の内訳 (第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係)

		内 訳
宿 泊 客 が 支 払 う べ き 総 額	宿 泊 料 金	①基本料金 (室料 (又は室料+朝食等の飲食料) ) ②サービス料 (10%)
	追 加 料 金	③追加飲食料 (①に含まれるものを除く) ④サービス料 (10%)
	税 金	イ. 消費税 ロ. 宿泊税 (宿泊料金が 1 人 1 泊につき 1 万円以上の場合)

備考1 基本宿泊料はフロントに掲示する料金表によります。

2 未就学のお子様に関しては、添い寝扱いとし基本料金は発生いたしません。

3 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

契約申込人数		契約解除の通知を受けた日						
		不泊	当日	前日	9日前	20日前	30日前	
一般	14名まで	100%	80%	20%	—	—	—	
団体	15名以上	100%	100%	80%	50%	20%	10%	

- (注) 1. %は、基本宿泊料に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. プランや旅行会社により、違約金の算定基準が変動する事がございます。

# Articles of Accommodation

(Scope of Application)

## Article 1

1. Accommodation contracts and any related contracts to be executed between this hotel (hereinafter referred to as the “Hotel”) and its guests (hereinafter referred to as the “Guest”) shall be in accordance with the Articles of Accommodation, and any matters not provided herein shall be in accordance with laws and regulations or generally established customs.
2. When the Hotel agrees to a special stipulation to the extent not conflicting with laws and regulations and customs, regardless of the provision of Article 1.1 above, such special stipulation shall prevail.

(Application for an Accommodation Contract)

## Article 2

1. A person who intends to apply for an accommodation contract with the Hotel shall provide the Hotel with the following information:
  - (1) Name(s) of the Guest(s);
  - (2) Accommodation dates and estimated arrival time;
  - (3) Accommodation charge (on the basis of the basic accommodation charge under Appendix 1, in principle); and
  - (4) Other information that the Hotel deems necessary.
2. If the Guest, during his/her stay, requests an extension of his/her stay in excess of the dates in Article 2.1(2) above, the Hotel shall regard it as an application for a new accommodation contract at the time of such request.

(Conclusion etc. of an Accommodation Contract)

## Article 3

1. An accommodation contract shall become effective when the Hotel accepts an application under Article 2 above. However, this shall not apply when it is proved that the Hotel did not accept an application.
2. Upon the conclusion of an accommodation contract under Article 3.1 above, the Guest will be required to pay the accommodation deposit prescribed by the Hotel within the amount of the basic accommodation charge for his/her entire stay at the Hotel by the date specified by the Hotel.
3. The deposit will first be appropriated to the accommodation charge to be eventually paid by the Guest, and then, in the event of the application of the provisions of Article 6, the deposit will be appropriated to the cancellation charge, and then to compensation in the event of Article 18; and any remaining amount will be refunded at the time of payment under the provisions of Article 12.
4. If payment of the accommodation deposit under Article 3.2 above is not made by the date specified by the Hotel in accordance with Article 3.2, the accommodation contract will become invalid. However, this



provision shall apply only when the Guest is informed of such payment rule by the Hotel at the time it specifies the due date of the deposit.

(Special Stipulation of Not Requiring Accommodation Deposit Payment)

Article 4

1. Notwithstanding the provisions of Article 3.2 above, the Hotel may agree to a special stipulation under which payment of the accommodation deposit, as stipulated in Article 3.2, is not required after the conclusion of a contract.
2. If the Hotel does not request payment of the accommodation deposit under Article 3.2 and does not specify the due date of such deposit upon acceptance of an application under the Articles of Accommodation, such cases shall be handled as an acceptance by the Hotel of the special stipulation under Article 4.1 above.

(Refusal to Conclude an Accommodation Contract)

Article 5

1. The Hotel may decide not to agree to conclude an accommodation contract in case of the following:
  - (1) When an application for accommodation was not made in accordance with the Articles of Accommodation;
  - (2) When there are no available guest rooms due to full occupancy;
  - (3) When a person who intends to stay at the Hotel is deemed likely to commit an act that is against the provisions of laws and regulations, or public order or morals with regard to his/her accommodation;
  - (4) When a person who intends to stay at the Hotel is deemed to fall under any of the following items;
    - (i) An organized crime group as specified in Article 2.2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Group Members (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as an “Organized Crime Group”), a member of an Organized Crime Group as specified in Article 2.6 of the said Act (hereinafter referred to as a “Member of an Organized Crime Group”), a quasi-member of an Organized Crime Group, related person of an Organized Crime Group, or any other antisocial forces;
    - (ii) A corporation or an organization the business activities of which are governed by an Organized Crime Group, a Member of an Organized Crime Group, or other antisocial forces; or
    - (iii) A corporation in which any of its officers is a Member of an Organized Crime Group or other antisocial forces.
  - (5) When a person who intends to stay at the Hotel conducts behavior to cause considerable inconvenience to other Guests;
  - (6) When it is obvious that a person who intends to stay at the Hotel has contracted a contagious disease;
  - (7) When a person who intends to stay at the Hotel commits a violent, demanding act with regard to accommodation (peremptory request that involves violence, injury, threats etc.), or he/she demands that the Hotel bear burdens in excess of a reasonable extent';
  - (8) When the Hotel is unable to provide accommodation due to a natural disaster, disfunction of facilities, or

other unavoidable reasons;

- (9) When a person who intends to stay at the Hotel is heavily intoxicated and he/she is likely to cause considerable inconvenience to other Guests; or
- (10) Any other cases where the Hotel deems that non-acceptance of an accommodation contract is necessary.

#### (Cancellation Right of Guest)

##### Article 6

1. The Guest may cancel an accommodation contract by notifying the Hotel of his/her intention.
2. If the Guest cancels an accommodation contract in whole or in part due to a reason attributable to the Guest (except in the case where the Hotel requests payment of the accommodation deposit, specifying a due date under the provisions of Article 3.2, and the Guest cancels the accommodation contract prior to such payment), the Hotel shall charge the Guest a cancellation charge in accordance with Appendix 2. However, in the case where the Hotel agrees to a special stipulation under Article 4.1, this provision shall apply only when the Hotel notifies, upon agreement to such special stipulation, the Guest of the cancellation charge obligation at the time of cancellation of an accommodation contract by the Guest.
3. If the Guest does not arrive at the Hotel by 20:00 on the scheduled date of accommodation without notification (or in case the Guest has preliminarily specified the estimated time of arrival, if he/she does not arrive within two (2) hours of such time), the Hotel may regard such case as a cancellation by the Guest.

#### (Cancellation Right of the Hotel)

##### Article 7

1. In the event of any of the following, the Hotel may cancel an accommodation contract:
  - (1) When the Guest is deemed likely to commit an act that is against the provisions of laws and regulations, or public order or morals with regard to his/her accommodation, or when he/she is deemed to have conducted such behavior;
  - (2) When the Guest is deemed to fall under any of the following items;
    - (i) An Organized Crime Group, a Member of an Organized Crime Group, a quasi-member of an Organized Crime Group, related person of an Organized Crime Group, or any other antisocial forces;
    - (ii) A corporation or an organization the business activities of which are governed by an Organized Crime Group or a Member of an Organized Crime Group; or
    - (iii) A corporation in which any of its officers is a Member of an Organized Crime Group.
  - (3) When the Guest conducts a behavior to cause considerable inconvenience to other Guests;
  - (4) When it is obvious that the Guest has contracted a contagious disease;
  - (5) When the Guest commits a violent demanding act with regard to accommodation (peremptory request that involves violence, injury, threats etc.), or he/she demands that the Hotel bear burdens in excess of a reasonable extent;
  - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to a reason beyond its control such as a natural

disaster;

- (7) When the Guest smokes in bed, vandalizes the fire defense equipment etc., or otherwise does not observe other prohibitions of the use regulations stipulated by the Hotel (limited to the matters necessary for fire prevention); and
  - (8) Any other cases where the Hotel deems that cancellation of an accommodation contract is necessary.
2. In a case where the Hotel cancels an accommodation contract under the provisions of Article 7.1 above, the Hotel will not charge the Guest for any services etc. that had not yet been provided to the Guest.

#### (Registration of Accommodation)

##### Article 8

1. The Guest will be required to register the following information at the front desk of the Hotel on the date of his/her accommodation:
  - (1) Name, age, gender, address, and occupation of the Guest(s);
  - (2) For the Guest from overseas, in addition to the item (1) above, nationality, passport number, port of entry, and date of entry into Japan;
  - (3) Departure date and scheduled time of departure; and
  - (4) Any other information that the Hotel deems necessary.
2. When the Guest intends to make a payment under Article 12 with any means other than cash, such as an accommodation coupon, credit card etc., the Guest will be required to present such means of payment in advance at the time of registration under Article 8.1 above.

#### (Occupancy Hours of Guest Rooms)

##### Article 9

1. The Guest may occupy a guest room of the Hotel from 15:00 through 11:00 of the following day. However, if the Guest stays for more than one night, he/she may use the room for the whole day excluding on the arrival day and departure day.
2. The Hotel may, regardless of the provisions of Article 9.1 above, give the Guest an approval to occupy a guest room in excess of the time specified in Article 9.1. In such a case, the Hotel will charge an extra charge as follows:
  - (1) 30% of the amount of the room charge for an additional three (3) hours or less;
  - (2) 50% of the amount of the room charge for an additional six (6) hours or less; and
  - (3) 100% of the amount of the room charge for additional time in excess of six (6) hours.

#### (Observance of Use Regulations)

##### Article 10

In the premises of the Hotel, the Guest will be required to observe the use regulations that are provided by the Hotel and posted within the Hotel.

(Opening Hours)

Article 11

1. Opening hours of the major facilities etc. of the Hotel are as specified below, and the detailed opening hours of other facilities etc. are described in the provided brochure, notices posted at several places of the Hotel, service directory in the guest rooms, etc.  
(1) Front desk: 24 hours a day
2. Opening hours of the facilities etc. are subject to change when necessary or due to unavoidable reasons.

(Payment of Charges)

Article 12

1. The breakdown of the accommodation charge to be paid by the Guest is as specified in Appendix 1.
2. The payment of the accommodation charge under Article 12.1 above shall be made at the front desk in the currency or any other form of payments that the Hotel accepts such as an accommodation coupon, a credit card, etc. upon departure of the Guest or request of the Hotel.
3. Even if the Guest voluntarily does not stay at a guest room after the room has been made available and provided to the Guest by the Hotel, he/she will be charged the accommodation charge.

(Liability of the Hotel)

Article 13

1. If the Hotel causes any damage to the Guest in the course of performing or not performing an accommodation contract and/or other related contract, the Hotel shall compensate the guest for such damage with a limit of 150,000 yen. However, this provision will not apply if such damage is due to a reason not attributable to the Hotel.
2. The Hotel has an innkeeper's liability insurance policy to prepare for unexpected fire etc.

(Handling when Unable to Provide Contracted Guest Room)

Article 14

1. When the Hotel is unable to provide a contracted guest room to the Guest, the Hotel shall, with the consent of the Guest, arrange another accommodation of the same standard as much as possible. However, if such unavailability is due to a reason not attributable to the Hotel, it may validly not arrange another accommodation.
2. If the Hotel is unable to arrange another accommodation regardless of the provisions of Article 14.1 above, the Hotel will pay the Guest compensation in the amount corresponding to the cancellation charge, and such compensation will be applied to the amount of the damage compensation. However, if such unavailability is due to a reason not attributable to the Hotel, the Hotel will not pay such compensation.

(Handling of Deposited Items etc.)

Article 15

1. If any damage, such as loss, breakage etc., is caused to the items or cash and valuables deposited by the Guest with the front desk, the Hotel will compensate for such damage unless such damage is caused by any reason beyond its control. However, if the Guest did not preliminarily specify the type and value of such deposited items, the Hotel will provide compensation with the limit of 150,000 yen.
2. As to the items or cash and valuables that are brought into the Hotel by the Guest but are not deposited with the front desk, if any damage, such as loss, breakage etc., is caused due to an intentional act or gross negligence of the Hotel, the Hotel will compensate for such damage. However, if the Guest did not preliminarily specify the type(s) and value(s) of such deposited item(s), the Hotel will provide compensation with the limit of 150,000 yen, except in the case where such damage is caused by an intentional act or gross negligence of the Hotel.
3. The safety box in a guest room shall be controlled by the Guest him/herself, in principle.  
When it is found that a safety box has been occupied ongoingly by the Guest even after his/her departure, the Hotel will unlock the safety box, and, after keeping the items for a certain period, hand over such items to the nearest police station unless there is any instruction from the owner.

(Custody of Guest's Baggage or Personal Items)

Article 16

1. If the baggage of the Guest is delivered to the Hotel prior to his/her arrival, the Hotel will responsibly keep such baggage only in the case where the Hotel had preliminarily accepted such custody and will hand over such baggage when the Guest checks in at the front desk.
2. If any baggage or personal items of the Guest are left at the Hotel after he/she checks out, and when the owner of such items is identified, the Hotel will contact the owner and seek his/her instruction. However, if no instruction is provided or an owner is unidentified, such baggage or items will be disposed of at the discretion of the Hotel after being kept for seven (7) days after discovery; provided, however, that in case of food and beverages, the Hotel will dispose of such items one (1) day after discovery.
3. The liability of the Hotel with regard to the custody of the baggage or personal items of the Guest in case of Articles 16.1 and 16.2 shall be in accordance with the provisions of Article 15.1 in a case under Article 16.1, and with the provisions of Article 15.2 in a case under Article 16.2.

(Liability on Parking)

Article 17

If the Guest uses the parking space of the Hotel, whether or not the Guest deposits a car key, the Hotel will not be liable for the custody of the car, as it merely lends the parking space. However, if the Hotel causes any damage due to its intentional or negligent act in the management of the parking space, the Hotel shall be liable to compensate for such damage.

(Liability of the Guest)

Article 18

If the Hotel suffers any damage due to an intentional or negligent act of the Guest, such Guest will be required to compensate the Hotel for such damage.

(Housekeeping)

Article 19

1. If the Guest stays at the same guest room for more than two (2) consecutive nights, the housekeeping service for the guest room will be provided on a daily basis, in principle.
2. If the housekeeping service is unnecessary, please use a do-not-disturb tag or contact the front desk.
3. Even when the Guest notifies the Hotel that housekeeping is unnecessary, in light of the objective of laws and regulations, prefectural ordinances etc., the Hotel will provide the housekeeping service at least once in every three days. However, when the Hotel deems necessary, it may conduct cleaning of a guest room at any time without obtaining the consent of the Guest.

(Dominant Language)

Article 20

The Articles of Accommodation are prepared in both Japanese and English, and if there is any discrepancy or difference between such two versions, the Japanese version shall prevail.

Appendix 1: Breakdown of Accommodation Charge, etc. (in relation to Articles 2.1 and 12.1)

		Breakdown
Total amount to be paid by the Guest	Accommodation charge	(i) Basic charge (room charge (or room charge and food & beverage charge such as breakfast etc.)) (ii) Service charge (10%)
	Additional charge	(iii) Additional food & beverage charge (excluding the charge of (i) above) (iv) Service charge (10%)
	Tax	(a) Consumption tax (b) Accommodation tax (in cases where the accommodation charge per person per night is 10,000 yen or over)

Remarks: 1. Basic accommodation charge shall be in accordance with the price list posted at the front desk.

2. For children of preschool age, no basic charge will arise, as they are deemed to be sharing a bed with an adult.
3. When any of the tax laws are revised, pertinent taxes specified herein are subject to change, in accordance with such revision.

Appendix 2: Cancellation Charge (in relation to Article 6.2)

Number of contracted Guests		Date of cancellation notice		No show	Arrival date	1 day before arrival date	9 days before	20 days before	30 days before
Individual	Up to 14 persons	100%	80%	20%	—	—	—		
	15 persons or more	100%	100%	80%	50%	20%	10%		
Group									

- (Notes)
1. Percentage indicates the rate of the cancellation charge against the basic accommodation charge.
  2. If the days of accommodation contract are reduced, regardless of the number of reduced days, the Hotel will charge a cancellation charge in the amount of the one-day accommodation charge (for the first day of stay).
  3. Calculation criteria for the cancellation charge may vary depending on the plan or travel agency.